

講座の目的

大学入試問題研究を通して、問題の本質を見極め、読解力（情報抽出能力）・思考力・表現力を育成する問題作成と授業づくりの研修を行い、数学の専門性と指導力の向上を図る。

対象と定員

12名
(高12名・特支)

期 日

平成30年7月30日(月)～31日(火)

研 修 内 容

- 大学入試問題の改題や新たな問題作成による教材の本質の究明
- 生徒の思考力・表現力を高めるための授業づくり
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想の在り方について
- 模擬授業 等

担当者からのメッセージ

授業改善のヒントがきっと発見できます！

教科指導力を高めるには、教材の本質を見抜く力を磨く必要があります。
また、生徒の思考力・表現力を育成するには、教師が扱う単元の内容をよく理解し、どのような授業を展開していくかが大切になってきます。
改題した問題等を通して、お互いの教科指導力を高め、生徒にしっかりと思考させる授業展開の方法を一緒に探りましょう。



受講者の感想から

- ・研修の中で、大学入試を分析し、ポイントをおさえ、生徒にどのように考えさせるのかというヒントをいただいた。
- ・知識構成型ジグソー法に触れたのは初めてだったので勉強になりました。問題作成の手法の幅が広がったように思います。
- ・じっくり数学を考える時間になりました。入試問題を解く際、アプローチの方法などしっかりと考えていかなければならないと実感しました。